

令和元(2019)年度

要 覧



栃木県総合教育センター

栃木県総合教育センター所歌「学びの杜」

作詞 所作作成委員会

作曲 星 尚志

一 桜舞う朝の光に輝いて

今日も行く

研修のエントランスに笑顔あふれて

学びの杜は明日への力

みんなを包む存在(ひと)でありたい

二 万緑の中のあつさに光る汗

今日も行く

世代越え手を取り合って地域とともに

学びの杜は明日への出会い

豊かな心 備えていたい

三 紅葉燃え深まる人の触れ合いに

今日も行く

未来への確かな学び深め広げて

学びの杜は明日への標へ

想いを込めて言葉を紡ぐ

四 見晴るかす富士の高嶺に凜として

今日も行く

一人ではできないことも成し遂げて

学びの杜は明日への希望

とちぎの学び 力尽くして

「育てます」「支えます」「広げます」

とちぎの希望(ゆめ)に想いを馳せて

それが私たちの力の源



管理研修棟全景



大講義室



グラウンドと体育館

目 次

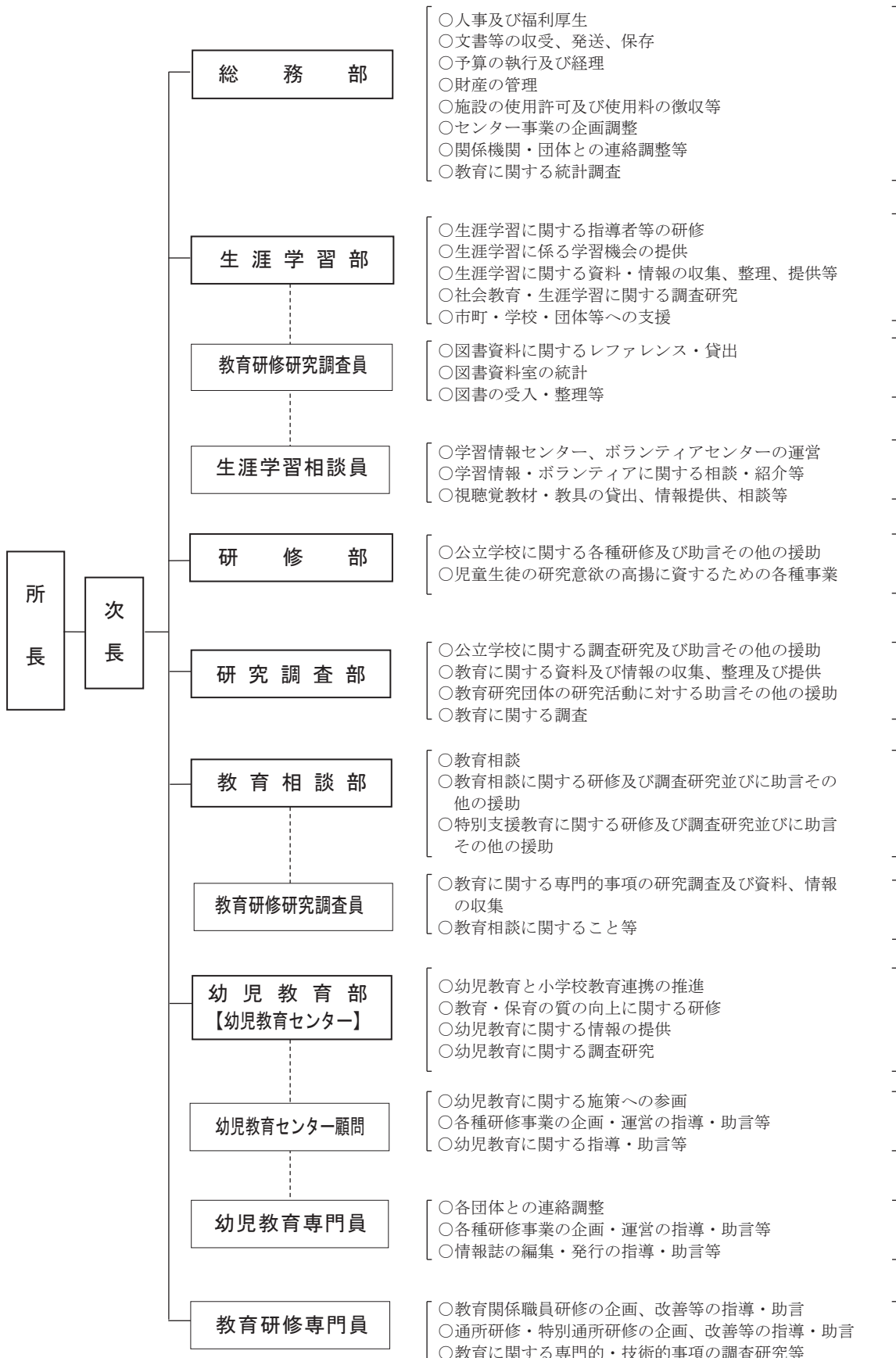
1 沿 革	1	(5) 教育相談事業	12
2 組織及び部の主要業務	2	(6) 幼児教育推進事業	13
3 事 業	3	(7) 資料・情報の収集提供事業	14
(1) 研修事業	3	(8) 研究・学習活動支援事業	15
(2) 学習機会提供	9	(9) 教育充実振興事業	16
(3) 学習相談・情報提供	10	4 職員等一覧	17
(4) 調査研究事業	11	5 配置図	18

1 沿革

昭和37年 4月	栃木県理科教育センター開設
昭和46年 1月	栃木県教育研修センター開設
昭和63年12月	総合教育センター整備基本構想策定 教職員研修と生涯学習推進機能を併せもつ施設として、宇都宮市瓦谷町地内（中央 青年の家跡地及び農業試験場農場）に計画
平成 2年11月	総合教育センター建設工事着工
平成 4年 6月	「栃木県総合教育センター条例」制定
平成 4年 7月	建設工事竣工
平成 4年 9月	「栃木県総合教育センター管理規則」制定 1 課 4 部制 管理課、生涯学習部、義務教育部、高校教育部、特殊教育・相談部
平成 4年10月	栃木県総合教育センター開所
平成 9年 4月	栃木県生涯学習ボランティアセンター設置
平成11年 4月	特殊教育・相談部を障害児教育・相談部に名称変更
平成13年 4月	義務教育部、高校教育部を研修部、研究調査部に組織改編 障害児教育・相談部を教育相談部に名称変更
平成14年 4月	幼児教育部「幼児教育センター」設置 6 部制となる
平成15年10月	カリキュラムセンター設置
平成24年10月	栃木県総合教育センター設立20周年記念式典
平成25年 4月	管理部を総務部に改編し、企画調整担当を設置
平成29年11月	所歌及びマスコットキャラクター「アンとシン」制定
平成31年 4月	カリキュラムセンターを学びの杜のサポートステーションに名称変更

2 組織及び部の主要業務

平成 31(2019)年 4 月 1 日現在



3 事 業

(1) 研修事業

ア 教育関係職員研修の充実

「栃木県公立学校教員研修要綱」に基づき、教員研修を推進するとともに、小・中学校事務職員、学校栄養職員の研修の充実を図る。

基本研修

番号	研 修 講 座 名	対 象	日数
1	初任者研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任教員	16
2	初任者研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任教員	16
3	新規採用養護教諭研修	新規採用養護教諭	14
4	新規採用学校栄養職員研修	新規採用学校栄養職員	10
5	新規採用事務職員研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新規採用事務職員	7
6	新規採用実習助手研修	新規採用実習助手	4
7	新規採用寄宿舎指導員研修	新規採用寄宿舎指導員	3
8	教職2年目研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校の教職2年目に該当する教員	3
9	教職2年目研修（高・特）	高等学校、特別支援学校の教職2年目に該当する教員	3
10	養護教諭2年目研修	2年目に該当する養護教諭	2
11	栄養教職員2年目研修	在職期間が2年目に該当する栄養教諭 在職期間が2年目に該当する学校栄養職員	2
12	教職5年目研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校の教職5年目に該当する教員	2
13	教職5年目研修（高・特）	高等学校、特別支援学校の教職5年目に該当する教員	2
14	養護教諭5年目研修	5年目に該当する養護教諭	2
15	栄養教職員5年目研修	在職期間が5年目に該当する栄養教諭 在職期間が5年目に該当する学校栄養職員	2
16	実習助手5年目研修	5年目に該当する実習助手	2
17	寄宿舎指導員5年目研修	5年目に該当する寄宿舎指導員	2
18	事務職員5年目研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校の5年目に該当する事務職員	3
19	中堅教諭等資質向上研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校の教職10年目に該当する教員	7
20	中堅教諭等資質向上研修（高・特）	高等学校、特別支援学校の教職10年目に該当する教員	7
21	中堅養護教諭資質向上研修	10年目に該当する養護教諭	6
22	中堅栄養教職員資質向上研修	在職期間が10年目に該当する栄養教諭 在職期間が10年目に該当する学校栄養職員	4
23	中堅実習助手資質向上研修	在職期間が10年目に該当する実習教諭 在職期間が10年目に該当する実習助手	2

番号	研 修 講 座 名	対 象	日数
24	中堅寄宿舎指導員資質向上研修	10年目に該当する寄宿舎指導員	2
25	教職 20 年目研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校の教職20年目に該当する教員	4
26	教職 20 年目研修（高・特）	高等学校、特別支援学校の教職20年目に該当する教員	4
27	養護教諭 20 年目研修	20 年目に該当する養護教諭	2
28	栄養教職員 20 年目研修	在職期間が 20 年目に該当する栄養教諭 在職期間が 20 年目に該当する学校栄養職員	2
29	実習助手 20 年目研修	在職期間が 20 年目に該当する実習教諭 在職期間が 20 年目に該当する実習助手	2
30	寄宿舎指導員 20 年目研修	20 年目に該当する寄宿舎指導員	2

専門研修 1 ア

番号	研 修 講 座 名	対 象	日数
1	新任免許教科担任研修（中）	免許状を有していない教科を担当する教諭のうち、当該教科を初めて担任する者	2
2	理科・基礎実験研修（高）	高等学校理科担当の教職 3 年目に該当する教員	3
3	英語授業力向上研修	小学校の教員（外国語教育担当教員を含む）及び、中学校、義務教育学校、高等学校の英語科担当教員	3
4	ネクストステージ研修	学校における教育活動推進の中心的立場にある教職員	5
5	教育相談指導者養成研修（高等学校）	今後県内で教育相談活動を推進する高等学校教員で、原則として教職 5 年目に行う研修及び教育相談基礎研修または教育相談充実研修を修了しているもの。	5
6	特別支援教育コーディネーター専門研修	全ての学校の特別支援教育コーディネーター。各学校 1 人。 令和元(2019)年度対象：小学校・特別支援学校 令和 2 (2020)年度対象：中学校・義務教育学校・高等学校	1
7	特別支援学級新任教員研修	初めて特別支援学級を担当する教諭、助教諭及び講師。ただし、本年度初任者研修を受講している者を除く。	3
8	通級による指導新任教員研修	初めて通級による指導を担当する教諭、助教諭及び講師。ただし、本年度初任者研修を受講している者を除く。	3
9	特別支援学級等実践研修	特別支援学級・通級による指導を担当して本年度 3 年目の教諭、助教諭及び講師。	3
10	特別支援学校新任教員研修	初めて特別支援学校に着任した教諭及び講師。ただし、本年度初任者研修を受講している者を除く。 初めて特別支援学校に着任した養護教諭及び養護助教諭で受講を希望する者。	1
11	職業教育指導力向上研修	特別支援学校高等部において職業教育を推進する教諭	3
12	自立活動充実研修	特別支援学校において自立活動の時間における指導を担当している小学部の教諭。ただし、平成 30 年度までに本研修を受講した者を除く。	2
13	早期教育相談担当者研修	特別支援学校において早期教育相談の職務を中心的に担う教諭。ただし、平成 30 年度までに本研修を受講した者を除く。	3
14	合同研修〔幼小〕	小学校、義務教育学校：第 1 学年担任、生活科主任等 幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所：年長担当等	1
15	幼小連携推進者養成研修	幼小連携の中心的立場にある小学校、義務教育学校教諭（幼小連携担当者、生活科主任等）、幼稚園教諭、幼保連携型認定こども園保育教諭、保育所保育士	5

専門研修 1 イ

番号	研 修 講 座 名	対 象	日数
1	校長研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校長	1
2	校長研修（高・特）	高等学校長、特別支援学校長	1
3	新任校長研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任校長	2
4	新任校長研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任校長	2
5	教頭 2 年目研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校 2 年目教頭	3
6	教頭 2 年目研修（高・特）	高等学校、特別支援学校 2 年目教頭	3
7	新任教頭研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任教頭	4
8	新任教頭研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任教頭	4
9	新任主幹教諭研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任主幹教諭	2
10	新任主幹教諭研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任主幹教諭	2
11	新任部主事研修（特）	特別支援学校新任部主事	2
12	新任教務主任研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任教務主任	2
13	新任教務主任研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任教務主任	2
14	新任学習指導主任研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任学習指導主任	1
15	新任学習指導主任研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任学習指導主任	1
16	新任児童指導主任研修（小）	小学校、義務教育学校新任児童指導主任	1
17	新任生徒指導主事研修（中）	中学校、義務教育学校新任生徒指導主事	1
18	新任生徒指導主事研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任生徒指導主事	1
19	新任進路指導主事研修（中）	中学校、義務教育学校新任進路指導主事	1
20	新任進路指導主事研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任進路指導主事	1
21	新任栄養教諭研修	新任栄養教諭	2
22	新任道德教育推進教師等研修	小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校新任道德教育推進教師等	1
23	新任地域連携教員研修	小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校 新任地域連携教員	2
24	人権教育指導者専門研修	小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校 人権教育主任等	6
25	新任補佐級事務長研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任補佐級事務長	1
26	新任係長級事務長研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任係長級事務長	2

専門研修 2

番号	研 修 講 座 名	対 象	日 数
1	学校図書館研修	学校図書館にかかわる教職員	1
2	教科等専門研修	小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員	1×25
3	小学校理科観察実験研修	小学校、義務教育学校、特別支援学校小学部の教員	1
4	産業教育専門研修〔農・工・商・家〕	高等学校、特別支援学校の農・工・商・家担当教員	工 2 農商家 1
5	環境学習プログラム研修	幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	2
6	実習助手専門研修	高等学校、特別支援学校の実習助手	2
7	ICT 活用研修（エクセルの活用）	小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
8	ICT 活用研修（タブレット端末の利用）	小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
9	校内研修ステップアップ講座〔学力向上に向けた授業研究〕（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校で校内研修にかかわる教職員	1
10	校内研修ステップアップ講座〔「主体的・対話的で深い学び」の実践に向けた授業改善〕（高・特）	高等学校、特別支援学校で校内研修にかかわる教職員	1
11	教育相談基礎研修	小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	4
12	教育相談課題研修〔いじめの理解と対応〕	小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
13	教育相談課題研修〔不登校の理解と対応〕	小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
14	教育相談実践研修〔保護者との連携〕	小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
15	知的障害教育研修	小・中学校、義務教育学校、特別支援学校の教職員	1
16	自立活動研修	小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
17	発達障害のある子どもの教育支援研修	小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
18	トップセミナー	幼稚園長、幼保連携型認定こども園長、保育所施設長、小学校長、義務教育学校長、特別支援学校長等	1
19	幼児期の特別支援教育研修	幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所、小学校、義務教育学校、特別支援学校教職員等	2
20	スキルアップセミナーⅠ 〔個別の指導計画〕	幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所、小学校、義務教育学校、特別支援学校教職員等	1
21	スキルアップセミナーⅡ 〔幼児理解に基づく評価〕	幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所、小学校、義務教育学校、特別支援学校教職員等	1
22	スキルアップセミナーⅢ 〔要録の作成と活用〕	幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所、小学校、義務教育学校、特別支援学校教職員等	1
23	スタートカリキュラム講座	幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所、小学校、義務教育学校教職員等	1

専門研修 3

番号	研 修 講 座 名	内 容
1	とちぎの教育未来塾	教職経験 5 年以内の若い教員や臨採教員と、栃木県の公立学校の教員を目指す学生等が、ともに学ぶことを通して、資質能力の向上を図るため、実践的な講義とグループ協議を中心に、土曜日に開催する。
2	教職員サマーセミナー	宇都宮大学との連携により、夏季休業中に講座を開設し、今日的な教育課題についての見識を深めたり、教職員として必要な教養を身に付けたりすることにより、資質の向上を図る。

イ 生涯学習関係研修の充実

県民の学習活動の充実と活性化を図るため、生涯学習の推進にあたる関係職員及び地域活動、ボランティア活動にかかわる団体や個人の資質の向上を目指す。

生涯学習指導者研修

番号	研修名	事業のねらい	事業概要	対象	日数	定員
1	女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）	地域活性化のための団体活動の在り方について学び、社会参画に必要なスキルの向上を図るとともに、指導者としての資質の向上を目指す。	・地域づくりとボランティア活動 ・施設見学 ・グループ研究 ・リーダーに求められるコミュニケーションスキル 等	[推・公募] 県民	8	30
2	家庭教育オピニオンリーダー研修	家庭教育について自主的な学習、情報や学習機会の提供、相談活動等を積極的に行い、地域に根ざした家庭教育支援ができるリーダーの養成を目指す。	・家庭教育支援の現状と課題 ・子どもたちを取り巻く現代の課題 ・カウンセリングマインドを生かした相談のあり方 ・フィールドワーク 等	[推・公募] 県民	7	50
3	家庭教育支援プログラム指導者研修	家庭の教育力の向上を図るために、親同士が交流しながら子育てに必要な知識やスキル等を学ぶ「家庭教育支援プログラム」を活用できる指導者を養成する。	・家庭教育支援プログラムの基本 ・ファシリテーション基礎 ・ファシリテーション演習 等	県民	5	80
4	ウィークエンド青少年セミナー	青少年が地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるよう、演習を中心とした主体的な活動をととして学び、青少年リーダーとしての実践力を養う。	・地域活動の事例発表 ・レクリエーション・工作遊び体験 ・ボランティア活動事業の企画、立案、準備、実践 等	青少年 大学生 高校生	5	30
5	放課後活動指導者研修	子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進ため、主に放課後活動にかかわる指導者の資質向上を図る。	・放課後活動の指導者に求められるもの ・子どもの遊びの理解と支援 ・もしものときに落ち着いて～子どもを守る危機管理～ 等	社 県民	5	150
6	学校と地域の連携推進セミナー	学校と地域の連携に携わる関係者の資質・能力の向上とネットワーク構築を目指し、学校と地域の連携を推進していくためのコーディネート機能の充実を図る。	・地域とともにある学校づくり ・学校と地域がつながる取組 等	社 教 県民	3	80
7	地域元気プログラム活用研修	地域課題を解決するために開発した「地域元気プログラム」を活用するための実践力を養う。	・地域課題と地域元気プログラムについて ・ファシリテーションの技術を学ぼう ・地域課題解決に向けた地域づくり 等	社 県民	5	80
8	地域教育コーディネーター全体研修	地域教育コーディネーターの果たす役割の重要性について学び、地域課題の解決に向けた取組等の充実と住民同士の交流や協働を促すための基礎を培うことを目指す。	・栃木県における地域教育コーディネーターの養成について ・地域教育コーディネーターに期待される役割 等	社 教 県民	1	200

県・市町職員等研修

9	生涯学習・社会教育担当職員研修	生涯学習・社会教育に携わる職員に、本県の生涯学習推進体制、国の動向や生涯学習関係法令・各種答申など、生涯学習に必要な基礎知識を提供するとともに、演習を通して技能向上を図る。	・生涯学習推進における行政職員への期待 ・本県の生涯学習推進計画 ・関係法令・答申・計画について ・学習プログラムの企画・立案 等	社	4	100
10	人権教育指導者専門研修	人権尊重の精神の涵養を図るため、指導者としての資質・能力の向上を目指す。	・栃木県の人権教育推進の在り方 ・現地研修・情報交換 ・人権に関するワークショップ ・学習プログラム作成 等	社 教	6	50

視聴覚教育指導者研修

11	16ミリ映写機 技術指導者研 修	視聴覚教材・機材の利用促進を図る ため、16ミリ映写機技術者養成講習 会の指導者を養成する。 16ミリ映写機技術修得証明書取得者 の技術及び資質の向上を目指す。	・16ミリ講習会の企画・運営 ・16ミリ映写機操作指導のポイント 隔年実施（令和元（2019）年度は実施）	社 視	1	20
----	------------------------	--	---	--------	---	----

新任地域連携教員研修

12	新任地域連携 教員研修	地域連携教員としての職務、今日的 な教育課題、地域連携の進め方等につ いて理解を深め、地域連携教員とし ての資質の向上を図る。	・地域連携教員の活動の実際 ・地域連携教員としてのマネジメント ・演習 等	教	2	－
----	----------------	--	---	---	---	---

※社：県・市町社会教育関係職員 県民：一般県民 教：教職員
視：視聴覚ライブラリー職員 〔推〕：要推薦

ウ 幼児教育関係研修の充実

幼稚園・認定こども園・保育所・小学校・義務教育学校の教職員を対象とした合同研修や相互理
解のための幼小連携推進の研修をはじめとして、幼稚園教育要領等に基づく研修や今日的な課題に
対応した研修を行い、幼児期における教育・保育の充実を目指す。

幼児教育関係研修等

（一部再掲）

番号	研 修 講 座 名	対 象	日数
1	合同研修〔幼小〕	小学校、義務教育学校：第1学年担任、生活科主任等 幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所：年長担当等	1
2	幼小連携推進者養成研修	幼小連携の中心的立場にある小学校・義務教育学校教諭（幼 小連携担当者、生活科主任等）、幼稚園教諭、幼保連携型 認定こども園保育教諭、保育所保育士	5
3	トップセミナー	幼稚園長、幼保連携型認定こども園長、保育所長、小学校 長、義務教育学校長、特別支援学校校長等	1
4	幼児期の特別支援教育研修	幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所、小学校、義務 教育学校、特別支援学校教職員等	2
5	スキルアップセミナーⅠ 〔個別の指導計画〕	幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所、小学校、義務 教育学校、特別支援学校教職員等	1
6	スキルアップセミナーⅡ 〔幼児理解に基づく評価〕	幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所、小学校、義務 教育学校、特別支援学校教職員等	1
7	スキルアップセミナーⅢ 〔要録の作成と活用〕	幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所、小学校、義務 教育学校、特別支援学校教職員等	1
8	スタートカリキュラム講座	幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所、小学校、義務 教育学校教職員等	1
9	教育課程研究集会〔幼児教育〕	幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所教職員	3
10	新規採用幼稚園教諭等研修	新規採用幼稚園教諭等	4
11	幼稚園等教職5年目研修	幼稚園教職5年目の教諭等	3
12	中堅幼稚園教諭等資質向上研修	幼稚園教職11年目の教諭等	6

(2) 学習機会提供

番号	事業名	目的・内容
1	とちぎ県民カレッジ	心豊かで活力ある生涯学習社会とちぎの形成をめざし、各種の講座を「とちぎ県民カレッジ」として体系的・総合的に提供し、県民の高まる学習意欲に応えとともに、学習成果を地域で生かせるよう支援する。 事務局の運営 1 登録講座の募集・認定・広報（県・市町・生涯学習関係機関・高等教育機関等） 2 学習活動奨励（学習歴累積希望者登録・奨励証の交付・地域活動奨励）
2	とちぎ子どもの未来創造大学	子どもたちの学力向上の基礎づくりのために、学校における学習に加え、学ぶ意欲を高め主体的に学習に取り組む態度を涵養するよう、大学、企業などから提供された講座を実施し、本物に触れる機会を社会教育で提供する。 ○ホームページの運営・管理（講座に関する情報提供と申込み受付フォームの作成） ○スタートアップ講座に関するポスター、リーフレット作成
3	公開講座 「ライフアップセミナー」の開催	総合教育センター研修の中から、県民の学習活動として活用できる部分を広く一般に公開し、幅広い学習機会を提供する。 令和元(2019)年5月～令和2(2020)年2月
4	センター開放事業 「学びの杜の冬休み～ふれる・つくる・考える～」の開催	総合教育センターの人的・物的資源を活用し、子どもたちをはじめとするさまざまな年代に向けて学びの機会を提供する。 「ふれる」「つくる」「考える」をキーワードとした「体験活動」の実施 実施期日 令和元(2019)年12月14日（土）
5	第32回栃木県自作視聴覚教材コンクールの開催	視聴覚教育に関わる自作教材の制作を奨励し視聴覚教育の振興を図るため、自作視聴覚教材コンクールを開催する。 令和2(2020)年1月中旬 応募締切 2月上旬 審査 3月中旬 表彰

(3) 学習相談・情報提供

ア 学習情報センター

番号	事業名	目的	内容
1	学習相談体制の充実	学習情報センターにおける学習相談を充実し、県民の学習活動を支援する。	1 県民のニーズにあった学習機会や指導者の紹介 2 面談・電話等による生涯学習相談 10:00～17:00 3 栃木県学習情報提供システム（とちぎレインボーネット）の利用24時間受付
2	情報源の充実	学習相談に対応するための各種の情報源の整備充実を図る。	1 栃木県学習情報提供システム（とちぎレインボーネット）の運用及び活用 2 市町広報誌及び各種情報誌等の活用による情報の提供 3 関係機関等との連携

イ 生涯学習ボランティアセンター（体験活動ボランティア活動支援センター）

番号	事業名	目的	内容
1	生涯学習ボランティアセンターの運営	県民の生涯学習ボランティア活動及び青少年の体験活動ボランティア活動を促進・支援する。	1 ボランティアに関する情報収集・提供・相談・紹介・広報などによる支援・援助 2 活動の希望者・団体の登録 3 ボランティア団体・グループ間の交流 4 活動の場の開発 5 関係機関・団体との連携 6 一日出張相談窓口の開設

ウ 視聴覚ライブラリー

番号	事業名	内容	対象・方法等	備考
1	視聴覚教材・教具等の貸出	DVD・ビデオテープ・16ミリフィルム・プロジェクター・映写機等の貸出を行う。	学校・団体・関係機関 一般県民	窓口：学習情報センター
2	視聴覚教育に関する相談	視聴覚教材・教具の利用に当たっての各種相談を行う。	学校・団体・関係機関 一般県民	窓口：学習情報センター

エ 図書資料室

番号	事業名	目的	内容
1	図書資料室の運営	教育関係資料の整備・充実を図り、学習活動を支援する。	1 教育関係資料の整備・充実 2 レファレンス・貸出

オ 学びの杜のサポートステーション

番号	事業名	目的	内容
1	学びの杜のサポートステーションの運営	各学校の自主的な教育活動や各教育機関を支援するために学校教育に関する相談や情報提供を行う。	1 学校教育に関する情報の収集・整理 2 学校教育に関する情報の提供

(4) 調査研究事業

ア 趣 旨

学校教育関係及び生涯学習関係各方面の要請や実情に基づき、学校教育の内容や方法等及び生涯学習の在り方や支援の方法等の改善充実を図るため、各種の調査研究を実施する。

イ 基本方針

- (ア) 教育行政上の基礎資料となる調査研究を行う。
- (イ) 当面する教育課題を的確に捉えて、指導に役立つ調査研究を行う。
- (ウ) 他の教育機関における調査研究活動との連携を図る。

ウ 事業内容

番号	研 究 主 題	目 的 ・ 内 容	備 考
1	高等学校における教科指導充実に関する調査研究 ～教科における今日的課題解決を図る指導の工夫～	高等学校の各教科の指導において今日的な課題の解決を図るための取組について研究する。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図るため、その前提となる各教科等の特質に応じた「見方・考え方」について簡潔に解説し、「見方・考え方」を働かせた授業とはどのようなものかを示すことで、教員の授業力の向上に資する。	研究調査部 継続
2	道徳科の授業に関する調査研究（中学校段階） ～「考え、議論する道徳」への転換に向けて～	「特別の教科 道徳」（道徳科）の実施に当たり、中学校における「考え、議論する道徳」についての調査研究を行い、授業実践例をまとめた資料（冊子）を作成することで、教員の道徳科の指導力向上と各学校における道徳科の授業改善に資する。	研究調査部 継続
3	学校におけるOJTに関する調査研究（小・中・高の各学校段階）	今日的な課題である「学校におけるOJT」について研究する。ベテラン教諭等による学校での実践事例やOJTのシステム等をまとめ、Web発信するとともに研修等で活用することにより、教職員の資質・能力の向上に資する。	研究調査部 新規
4	情報モラルの育成（小・中・高の各学校段階）	情報通信ネットワーク利用上の様々なトラブルや利用に関する実態、児童生徒の意識等を調査し、最新の情報を学校や保護者に提供する事で、情報モラル教育の更なる充実を図る。	研究調査部 新規
5	教育に関する各種統計調査～教育行政基礎資料の提供～	本県及び国の教育に係る各種統計調査（県単6、文部科学省2の計8）を実施し、教育行政、教育施策に関する基礎資料を作成・配布する。 ○県単調査 （1） 中学校等卒業者の進路状況調査 （2） 県立高等学校等卒業者の進路状況調査 （3） 全日制高等学校生徒の他県との交流調査 （4） 公立学校教員構成調査 （5） 新年度児童・生徒数、学級数見込み調査 （6） 中学校等生徒の進路希望調査 ○文部科学省調査 （7） 地方教育費調査（教育費調査・生涯学習関連費調査：平成30会計年度・教育行政調査：令和元（2019）年5月1日現在） （8） 学校教員統計調査	総務部 継続

番号	研 究 主 題	目 的 ・ 内 容	備 考
6	地域課題に関する調査研究	地域課題に対する意識や地域課題解決への取組状況について調査研究し、リーフレットを作成・配布することで、地域課題解決型学習への取組や地域活動への参加の促進に資する。	生涯学習部 新規
7	児童生徒支援に関する指導資料の作成	児童生徒理解に関する指導資料を作成・配布し、各校における指導・支援の充実に資する。	教育相談部 継続
8	特別支援学校（知的障害）における国語科の指導の充実	知的障害のある児童生徒の学習上の特性を踏まえた国語科の指導について、調査研究協力校の実践を参考に指導内容や教材例を指導資料としてまとめ、指導の充実に資する。	教育相談部 新規
9	安全な生活に必要な資質・能力を育むために	幼稚園教育要領等の改訂を踏まえ、安全な生活のために必要な資質・能力を育む教育の在り方について調査研究し、リーフレットを作成・配布することで、幼児期の教育の充実に資する。	幼児教育部 新規

（５）教育相談事業

ア 趣 旨

幼児児童生徒の健全な育成に資するため、障害や不登校など教育上の悩みを抱える幼児児童生徒及び保護者等に対して、問題解決に向けた助言・援助を行う。

イ 事業内容

番号	事 業 名	内 容	対象・方法等
1	教育相談	〔来所相談〕 障害や不登校など教育上の悩みを抱える幼児児童生徒及び保護者等に対して、問題解決に向けた助言・援助を行う。	幼児児童生徒、保護者等
		〔学校支援〕 学校や教育研究会等からの要請に応じて、教育相談及び特別支援教育に関する研修会や事例検討会等に指導主事を派遣し、助言・援助を行う。	学校・教育研究会等

(6) 幼児教育推進事業

ア 趣 旨

幼児期の教育の充実に資するため、教職員の専門性の向上を図るとともに、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を目指し、幼稚園・こども園・保育所と小学校・義務教育学校との連携を深化・拡充するため、各種事業を展開する。

イ 基本方針

(ア) 幼小連携の推進

幼小連携推進会議を核として、幼児教育の充実に資するとともに、各地域で整備された連携体制とその取組を支援し、幼小の円滑な接続を推進する。

(イ) 研修

幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所・小学校・義務教育学校の教職員を対象とした合同研修〔幼小〕や幼小連携推進者養成研修をはじめとして、「幼稚園教育要領」や「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び「保育所保育指針」等に基づく研修や今日的課題に対応した研修及び教職員等への支援を行い、教育・保育の充実に資する。

(ウ) 情報の提供

情報誌やたより、ホームページにより、幼児教育や子育てに関する情報を提供したり、幼児教育関係者の会議等において、県における事業展開等を紹介したりするとともに、教材等を整備し、研修等で活用する。

(エ) 調査研究

幼児教育や家庭教育、幼小連携等に係る今日的課題についての調査研究を行い、その成果を広く発信・提供し、課題解決の一助とする。

ウ 事業内容

(一部再掲)

番号	事業名	内 容	開催回数等
1	幼小連携の推進	1 幼小連携推進会議 2 幼小ジョイントプロジェクト 幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所・小学校等の教職員がともに参加し、子どもの発達や学びを踏まえた保育・授業研究を行う。 3 幼小連携実施状況調査 (隔年実施 令和元(2019)年度実施)	2回 1市町 (5日)
2	研修	1 研修の実施 (1) 合同研修〔幼小〕 (2) 幼小連携推進者養成研修 (3) トップセミナー (4) 幼児期の特別支援教育研修 (5) スキルアップセミナーⅠ〔個別の指導計画〕 (6) スキルアップセミナーⅡ〔幼児理解に基づく評価〕 (7) スキルアップセミナーⅢ〔要録の作成と活用〕 (8) スタートカリキュラム講座 (9) 教育課程研究集会〔幼児教育〕 (10) 新規採用幼稚園教諭等研修 (11) 幼稚園等教職5年目研修 (12) 中堅幼稚園教諭等資質向上研修 2 教職員等に対する研修等 (1) 教育・保育アドバイザーの派遣 (2) 教育相談	1日 5日 1日 2日 1日 1日 1日 1日 1日 3日 9日 3日 6日

番号	事業名	内 容	開催回数等
3	情報の提供	(1) 幼児教育情報誌「おうち」の発行・配布 (2) 幼児教育センターだよりのメール配信 (3) ホームページによる情報の提供 (4) 国公立幼稚園等代表者会議の開催 (5) ビデオライブラリーの整備	2回 隔月1回程度 1日 随時貸出
4	調査研究	(1) 幼児教育調査研究委員会の開催 (2) 家庭における幼児教育等の実態調査	3回 2回

(7) 資料・情報の収集提供事業

ア 資料・情報センターとしての機能の拡大

教育関係職員の教育活動及び研修や生涯学習に関する学習活動・学習相談及び研修を進める上に必要な資料・情報を提供するため、機能の拡大に努める。

イ 事業内容

番号	事業名	内 容	対象・方法等
1	資料情報の収集・提供	1 教育・生涯学習関係図書及び教科書等の収集・整理・保管・提供 2 学校・教育研究所・教育研究団体・生涯学習関係団体等の各種研究成果の収集・整理・保管・提供 3 栃木県学習情報提供システム（とちぎレインボーネット）・栃木県生涯学習ボランティア活動支援情報提供システム（とちぎかがやきネット）の活用 4 学習相談 5 ボランティア情報の収集・提供 6 視聴覚教材・教具の貸出 7 学校教育に関する情報の収集・整理・提供等 8 とちぎ学びの杜（センターホームページ）	幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校及び特別支援学校・生涯学習関係団体・生涯学習活動者・県内外関係機関並びに一般県民
2	広報活動	総合教育センター広報紙、研究成果等の発行 1 要覧 2 所報 3 総合教育センター施設案内 4 生涯学習ボランティアセンター関係広報資料 5 とちぎ県民カレッジ関係広報資料 6 教育相談リーフレット 7 学校支援広報リーフレット 8 とちぎ学びの杜（センターホームページ） 9 総合教育センターだより「学びの杜通信」のメール配信 10 総合教育センター重点事業紹介リーフレット 11 ツイッター	同 上

(8) 研究・学習活動支援事業

ア 教育研究団体、生涯学習関係団体への支援協力

教育研究団体が当面している教育に関する諸問題の研究や生涯学習関係団体の学習活動について、その推進が図られるよう支援協力する。

イ 事業内容

番号	事業名		内 容	対象・方法等	備 考
1	研究・学習活動援助		教育研究団体の自主的、組織的研究活動の推進、生涯学習関係団体の学習活動の推進、施設利用等に対して援助協力する。	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教育研究会・生涯学習関係団体	
2	視聴覚教材・教具等の貸出（再掲）		DVD・ビデオテープ・16ミリフィルム・プロジェクター・映写機等の貸出を行う。	学校・団体・関係機関 一般県民	窓口：学習情報センター
3	市町・学校・団体等への支援	市町支援活動	市町におけるまちづくりや社会教育事業・研修・プログラム企画等を支援する。	市町	生涯学習・社会教育関係職員研修と連携
		学校・団体等支援活動	学校及び社会教育関係団体等からの求めに応じ、研修・事業企画等を支援する。	学校 各種団体	
			栃木県視聴覚連盟事務局の運営。視聴覚教育促進のため、各視聴覚ライブラリーとの連絡・調整を行う。	栃木県視聴覚教育連盟	・自作視聴覚教材コンクール ・とちぎ教育の日協賛イベント
			生涯学習ボランティアの活動を支援する。	生涯学習部所管研修修了者有志（センターボランティアの会、栃木県メディアボランティア）等	・生涯学習関係事業の支援活動 ・ボランティア学習会 ・自主企画講座の開催

(9) 教育充実振興事業

ア 教育研究活動及び生涯学習の振興

教職員の資質の向上、児童生徒の研究意欲の高揚及び生涯学習の振興に資するため、各種の事業を実施する。

イ 事業内容

(ア) 講座

番号	事業名	内 容	対象・方法等
1	ライフアップセミナー (再掲)	総合教育センター研修の中から、県民の学習活動として活用できる部分を広く一般に公開し、幅広い学習機会を提供する。 令和元(2019)年5月～令和2(2020)年2月	一般県民
2	教育相談特別講座	子どもへのかかわりや学校としての取組を通して、新たな不登校を生まないために大切にしたいことについて考える機会を提供する。 実施期日 令和元(2019)年8月6日(火)	小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教職員及び教育関係者

(イ) 展覧会・発表会・コンクール等

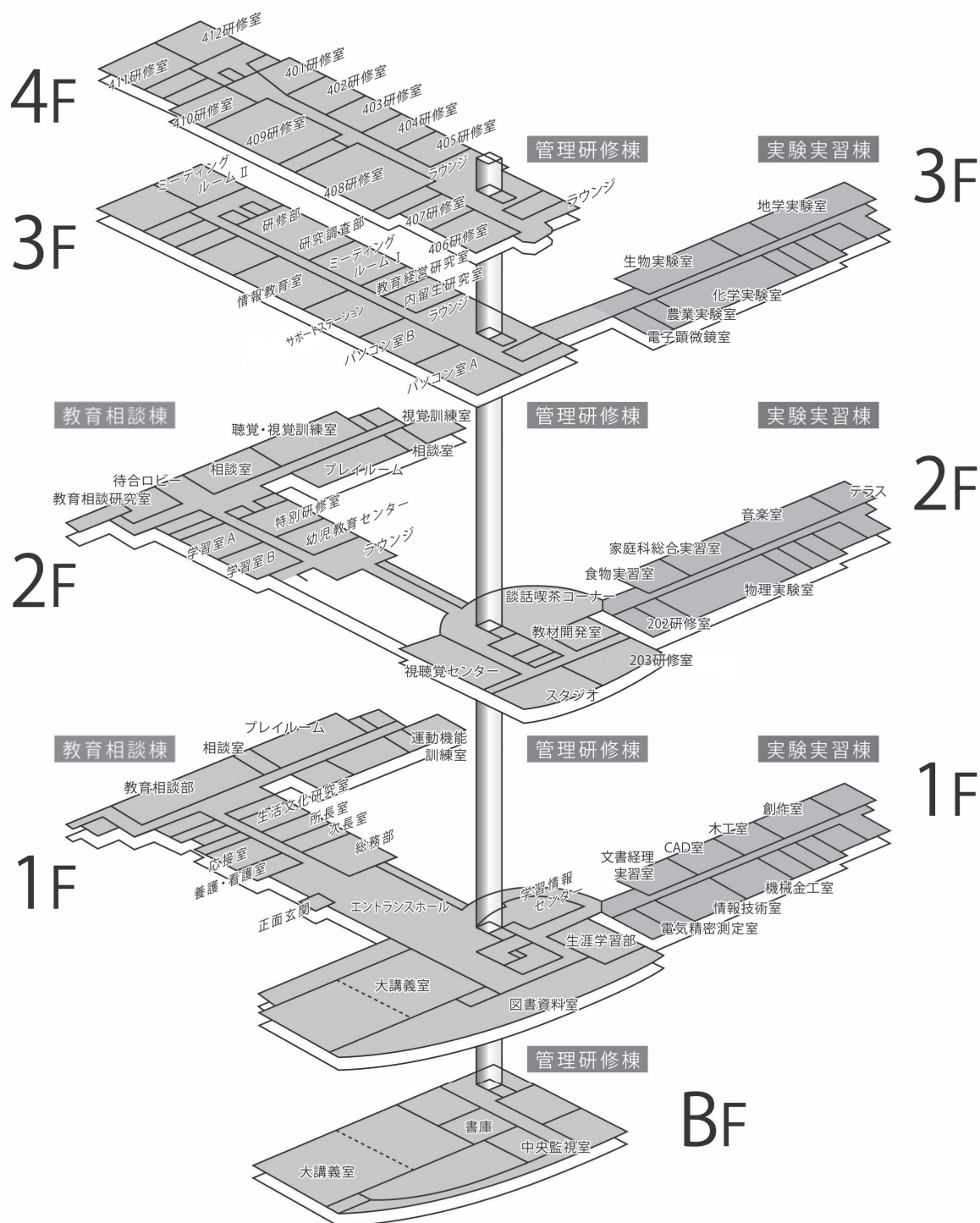
番号	事業名	内 容	対象・方法等
1	第63回日本学生科学賞 栃木県展覧会	中・高生の科学的探究心の高揚を図るため、科学的研究作品の展覧会を開催する。	中学校・義務教育学校(後期課程)・中等教育学校・高等学校・高等専門学校(第3学年まで)・特別支援学校(中学部・高等部)の生徒
2	第69回栃木県児童生徒 発明工夫展覧会	創作の喜びや発明工夫の楽しさを味わうことを通して、児童生徒の豊かな観察力と創造力を育成する目的で、作品を募集し、展覧会を行う。	小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校・高等学校・高等専門学校(第3学年まで)・特別支援学校の児童生徒
3	第73回栃木県理科研究 展覧会並びに発表会	児童生徒の科学する心を育成し、本県理科教育の振興を図るため、児童生徒の理科研究作品の展覧会と発表会を開催する。	小学校・中学校・義務教育学校・高等学校及び特別支援学校等の児童生徒
4	第32回栃木県自作視聴 覚教材コンクール (再掲)	視聴覚教育に関わる自作教材の制作を奨励し、視聴覚教育の振興を図るため、自作視聴覚教材コンクールを開催する。 令和2(2020)年1月中旬 応募締切 2月上旬 審査 3月中旬 表彰	映像作品の制作を職業としない個人及びグループ等
5	令和元年度栃木県教育 研究発表大会	県内各教育機関における幼児教育、学校教育及び生涯学習に関する実践研究の成果を広く公開し、その理解と普及を図り、本県教育の充実・向上と生涯学習の振興に資する。 実施期日 令和2(2020)年1月24日(金)・25日(土)	幼稚園・保育所等の教職員、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教職員、生涯学習関係者、大学生等、一般県民
6	令和元年度総合教育セ ンター開放事業 「学びの杜の冬休み～ ふれる・つくる・考える ～」 (再掲)	総合教育センターの人的・物的資源を活用し、子どもたちをはじめとするさまざまな年代に向けて学びの機会を提供する。 「ふれる」「つくる」「考える」をキーワードとした「体験活動」の実施 実施期日 令和元(2019)年12月14日(土)	幼児～高校生を中心とする子ども・保護者等

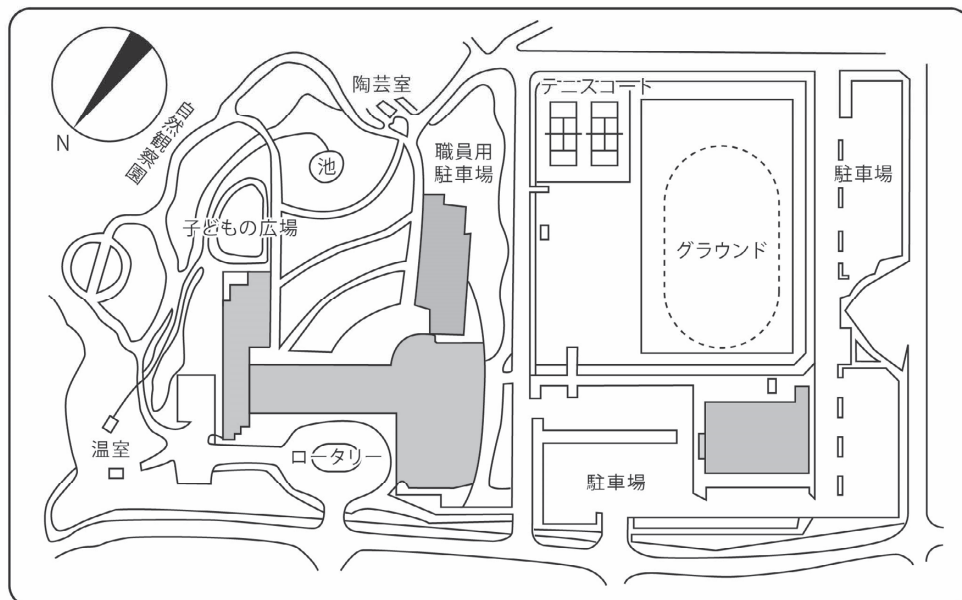
4 職員等一覧

平成 31(2019)年 4 月 1 日現在

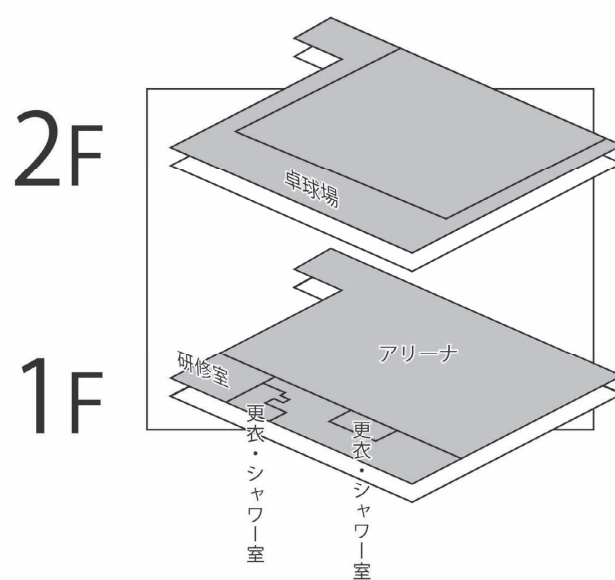
部	職 名	氏 名	部	職 名	氏 名
所 長	菅 谷 毅		部 長	梅 澤 圭 子	
	伊 藤 満			三 澤 雅 子	
総務部	部 長 (兼)	伊 藤 満	研究調査部	副 主 幹	入 野 伸 行
	部長補佐 (総括)	折 山 敏 雄		〃	五 月 女 穰
	主幹(企画調整担当)	藤 田 弘 光		〃	中 條 康 雄
	副 主 幹 (〃)	大 高 裕 一		〃	浦 田 英 亮
	〃	水 井 ゆかり		〃	興 野 寛 久
	係 長	三 津 間 裕 治		〃	山 田 裕 功
	〃	三 澤 智 子		指 導 主 事	福 井 智 之
	主 査	木 舟 克 己		〃	齊 藤 真 史
	主 任	大 島 佳央莉		〃	武 井 玲 子
	〃	佐 藤 真 衣		〃	大 山 晃
	主 事	小 滝 啓 輔		〃	梶 谷 隆 雄
	主任技能技術員	腰 塚 政 美	教育相談部	部 長	谷 口 照 子
	臨 時 補 助 員	福 村 円		副 主 幹	佐 山 功
	〃	田 崎 清 二		〃	見 目 正 恵
生涯学習部	部 長	高 野 嘉 子		指 導 主 事	細 井 三知代
	副 主 幹	伊 東 宏 隆		〃	内 藤 久 美
	〃	関 澤 亜矢子		〃	田 上 岳
	〃	永 島 寿 一		〃	落 合 睦 美
	社会教育主事	築 真 也		〃	絵 面 悦 子
	〃	田 辺 剛		〃	飯 村 伸 子
	〃	古 川 博 子		〃	山 家 良 子
	〃	小 柳 真 一		教育研修研究調査員	相 沢 忠 裕
	教育研修研究調査員	石 川 幸 夫	幼児教育部	部 長	新 村 幸 江
	生涯学習相談員	湯 浅 都志昭		副 主 幹	前 原 由 紀
研修部	〃	赤 上 純 子		指 導 主 事	黒 川 貴 広
	臨 時 補 助 員	鳥 羽 沙有理		〃	高 根 沢 伸 友
	部 長	近 藤 秀 人		〃	富 川 千 明
	副 主 幹	小 川 賢 一		幼児教育センター顧問	神 長 美津子
	〃	庄 司 由 夏		幼児教育専門員	栃 木 肇 子
	指 導 主 事	塩 野 友 佳		〃	栗 田 英 子
	〃	高 橋 徹	教育経営研究室	教育研修専門員	萩 原 伸 二
	〃	渡 邊 久 子		〃	柴 田 功
	〃	小 野 勝		〃	阿 見 勉
	〃	宇 賀 神 安 代		〃	高 橋 哲 也
	〃	板 橋 美 季		〃	鈴 木 利 生
	〃	飯 塚 久 宣		〃	大 橋 芳 樹
	〃	佐 山 新太郎		〃	中 村 仁
	〃	福 田 俊 彦	派遣 (文部科学省)		白 井 淳 子
	〃	前 田 憲 政			
	〃	星 義 夫			
	〃	永 岡 裕 子			
	〃	上 野 利 之			
	〃	谷 仲 俊 彦			

栃木県総合教育センター配置図





体育館



施設の概要

◆敷地面積 57,586 m² (管理研修棟側 31,828 m² グラウンド側 25,758 m²)

◆建物の概要

- ・管理研修棟 延べ床面積／14,046.9 m²
内訳 管理研修棟 9,218.65 m² (地下1階地上4階建)
実験研修棟 2,810.90 m² (地上3階建)
教育相談棟 2,017.35 m² (地上2階建)
- ・体育館 延べ床面積／1,539.25 m²
- ・陶芸室・温室 延べ床面積／61.29 m²
- ・浄化槽機械室 延べ床面積／29.12 m²

栃木県総合教育センター案内

◆所在地 〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1070番地

◆電話案内 市外局番 028

総務部	TEL 665-7200	FAX 7217	生涯学習部	TEL 665-7206	FAX 7219
研修部	TEL 665-7202	FAX 7218	学習情報センター	TEL 665-7207	FAX 7219
研究調査部	TEL 665-7204	FAX 7303	生涯学習ボランティアセンター	TEL 665-7207	FAX 7219
教育相談部	TEL 665-7210	FAX 7212	情報教育室	TEL 665-7208	
	TEL 665-7211		学びの杜のサポートステーション	TEL 665-7204	FAX 7303
幼児教育部	TEL 665-7215	FAX 7216	教育経営研究室	TEL 665-7209	
(幼児教育センター)					

◆Webサイト案内

栃木県総合教育センター

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

とちぎレインボーネット (栃木県学習情報提供システム)

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>

幼児教育センター

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>

◆利用案内 (利用できる日)

教育相談……………月～金曜日

貸出施設……………毎日

学習情報センター、生涯学習ボランティアセンター、図書資料室……毎日

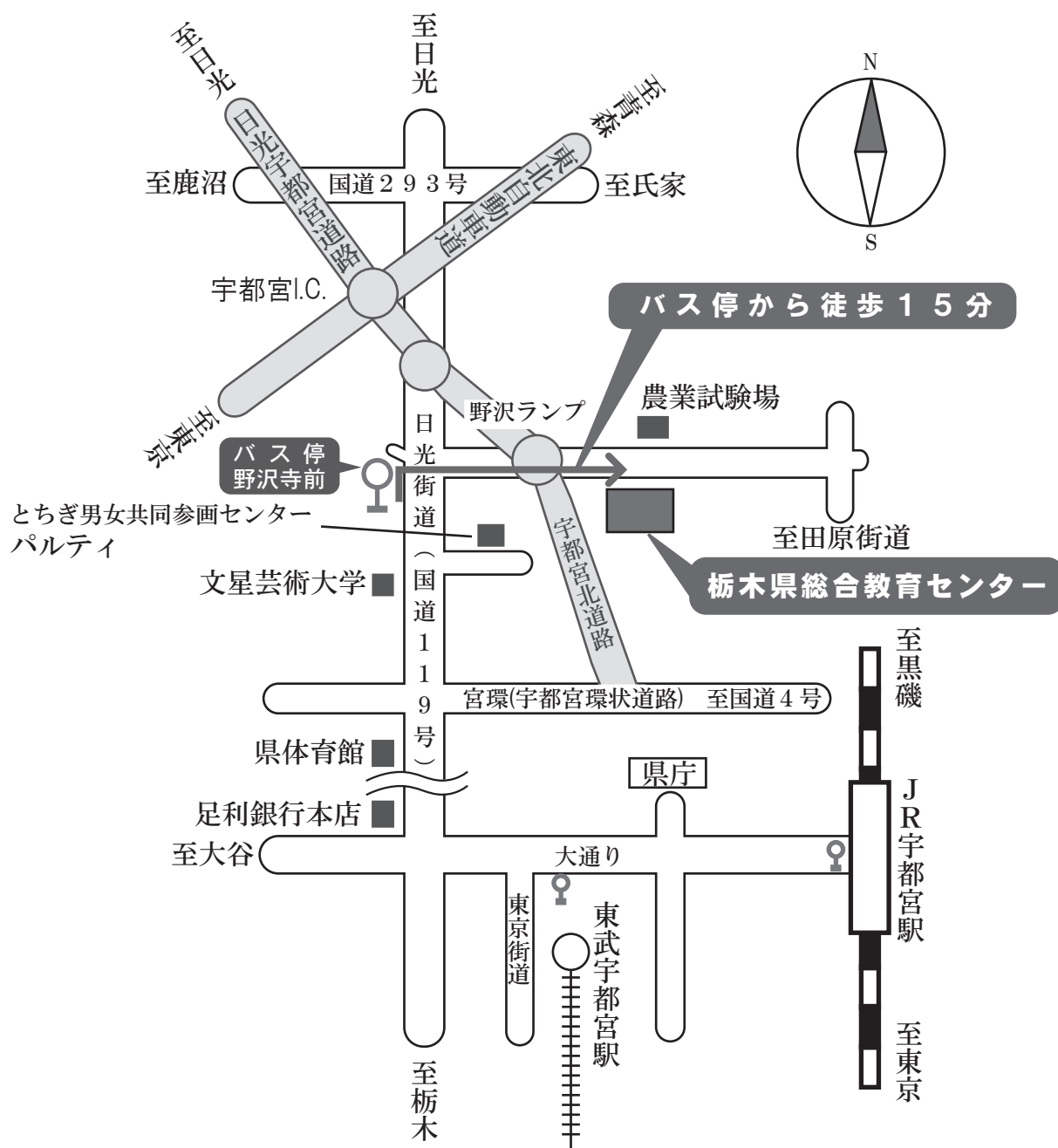
学びの杜のサポートステーション……月～金曜日 (来所相談は要予約)

※利用できない日 (施設の管理運営上変更になる場合もあります。)

第3日曜日 (学習情報センター、生涯学習ボランティアセンター及び
図書資料室は第1・3日曜日)

国民の祝日、年末・年始 (12月28日～1月4日)

◆交通案内



アクセス

◆関東バス利用

- ・ J R 宇都宮駅西口 (8 番のりば) 約 10 km
バス乗車時間 約 30 分 + 徒歩 約 15 分
- ・ 東武宇都宮駅
(大通り沿いバス停: 東武駅前) 約 9 km
バス乗車時間 約 25 分 + 徒歩 約 15 分

系統: 56 今市・日光東照宮行、58 船生行、52 山王団地行、52 石那田行
↓
野沢寺前下車 徒歩 約 15 分

◆タクシー利用

- ・ J R 宇都宮駅西口から 約 10 Km 25 分
- ・ 東武宇都宮駅から 約 9 Km 20 分

◆東北自動車道利用

- ・ 宇都宮I.C.から車で5分
(宇都宮北道路野沢ランプを下りてすぐ)



栃木県総合教育センター